

第1回例会
代表質問等から



市民クラブ
窪之内美知代
議員

市独自の消費税増税対策について

質問 消費税増税対策として、国の一時的な救済策の予算は計上されているが、本市独自の救済策は検討したのか。

答弁 独自対策としては、市民税非課税世帯を対象とした冬の生活支援券（実施済）、プレミアム商品券発行事業補助金（4月実施）があります。また、新年度の実質的な建設事業費は、平成11年度以来最大となる予算額を確保し、地域経済の活性化に寄与すると考えています。

栄町3―3地区の民間主導の再開発と市の対応について

質問 三番館の撤退を受け、高林デパートが7月末で閉鎖するといふ中心市街地のさらなる疲弊に

し、もう一步踏み込んだ支援が必要ではないか。

答弁 高林デパートの清算手続き開始は、中心市街地の商業機能の喪失を加速させるものであり、市民生活への影響は少なくないことから、市として民間投資のしやすい環境づくりを早急に進めていく考えです。昨年からの地元経済界主導による再開発検討の動きが出てきています。もう一步踏み込んだ支援については、再開発の今後の推移を見ながら判断していきます。

公共施設マネジメント計画について

質問 新年度にコミュニティ機能の学校移転検討を進めるモデル小学校区と選定理由について、また、地域での協議と理解を得るための取り組みについて伺う。

答弁 泉町福祉会館、西地区コミュニティセンターの老朽化に加え、西地区の5つの連合町内会のエリアが西小学校区内に位置し、歩いて通学が可能という地理的要因から西小学校区をモデルとしました。協議にあたっては、コミュニティ施設利用者、老人クラブ、町内会

関係者、小学校PTA、児童館母親クラブ、地区育成会などに学校関係者を加えた市民ワークショップを設置し、学校施設複合化の先進事例の学習、複合施設としての施設レイアウトや改修のあり方、相乗効果が得られるような運営管理体制のあり方、集約化に関する課題の解決方法など様々な検討を行っていきます。

民生委員・児童委員確保対策について

質問 民生委員・児童委員の欠員となり手不足は、超高齢化社会を迎え、地域見守りがますます重要になる中で深刻な事態だが、この局面の打開策と方針は。

答弁 本市でも昨年の一斉改選において初の欠員が生まれました。全国的にも即効性のある対策は見い出せていない状況ですが、民生委員の負担軽減を図るとともに、各種団体などから情報を収集しながら、民生委員児童委員連合協議会と連携し後任者確保に努めます。

定住自立圏構想の推進について

質問 定住自立圏共生ビジョン策

定時期および協定締結の可能性とその事業内容を伺う。

答弁 中心市と連携市町が一对一で締結する定住自立圏形成協定は6月、定住自立圏共生ビジョンは11月策定を目標としています。具体的な検討を行うにあたっては、中空知5市5町の関係職員が参加する保健医療・福祉子育て・地域公共交通・教育・環境衛生・産業観光等・人材育成の7部会で連携すべき事業や協定を結ぶべき項目について精査している段階です。

学童保育新基準への対応について

質問 昨年12月に厚生労働省が学童保育の職員配置や開所日数等の新基準を示した。新基準と比較した本市の現状と新基準達成へ向けた取り組みは。

答弁 従うべき基準である2人の職員配置（うち1人は有資格者）・開所日数・開所時間については基準を満たしています。参酌すべき基準である定員40人については、6館のうち4館が定員を超えていることから、分割や複数の集団に分ける等の対応を含め検討する必要があると考えています。